

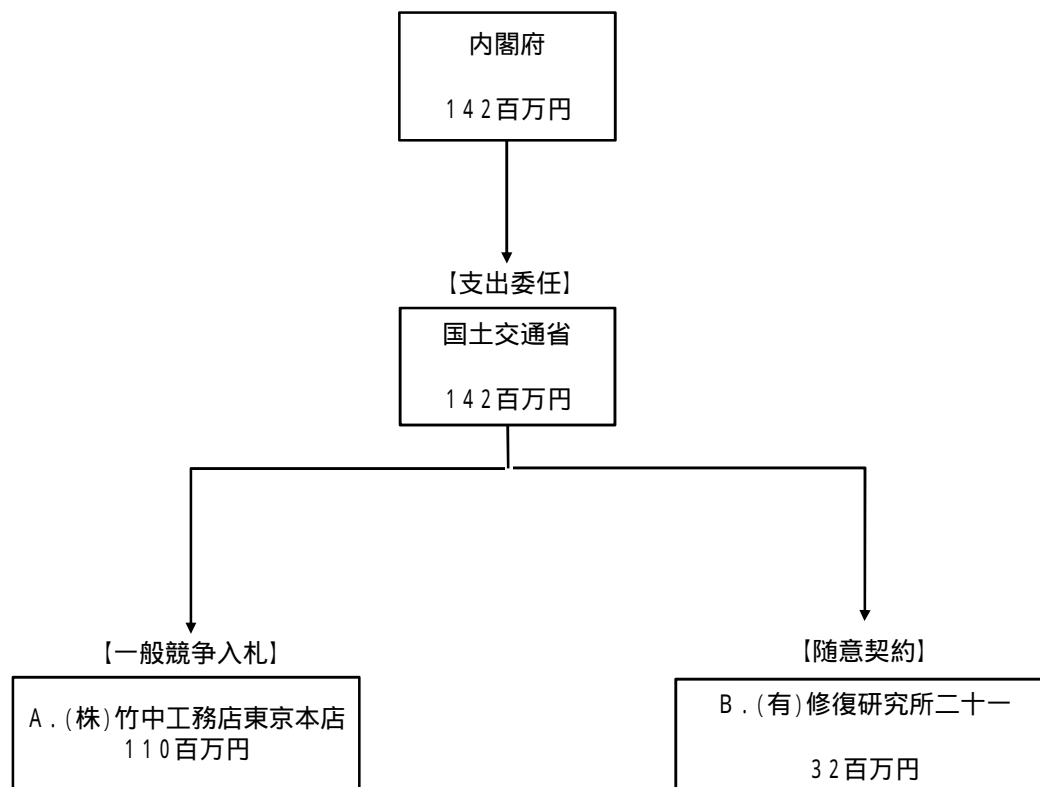
平成25年行政事業レビューシート

(内閣府)

事業名	迎賓施設整備に必要な経費		担当部局庁	迎賓館		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度			担当課室	庶務課		庶務課長 小林 秀夫			
会計区分	一般会計		政策・施策名	—					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	官公庁施設の建設等に関する法律		関係する計画、通知等	官公庁施設に建設等に関する法律第九条に基づく営繕計画書					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	赤坂迎賓館は、昭和49年の開館より35年以上が経過しており、建築、電気、機械設備については一部改修を行っているものの経年劣化が進み、故障等が頻繁に発生し、また部品等の調達も難しくなっており、接遇を実施するに当たり重大な支障が生じる恐れがあり、京都迎賓館でも同様に経年劣化による不具合が発生してきている。そのため、接遇体制に万全を期するため必要な改修工事等を実施。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	天井絵画について、建築技術の外に高い工芸技術も必要となることから、一部試験修復を実施。試験修復により、効率的な修復方法の検証ができ、その方法を活用し、修復事業を実施。経年劣化により不具合が発生している建具の更新を実施。								
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	264	155	97	100			
		補正予算	0	0	53	0			
		繰越し等	▲ 54	147	▲ 5	64			
		計	210	302	145	164			
	執行額		208	285	142				
	執行率(%)		99.0%	94.3%	97.9%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	経年劣化等により必要となる迎賓施設の改修を目的としているため、定量的な成果目標及び成果実績を示すことは困難である			成果実績					
				達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	経年劣化等により必要となる迎賓施設の改修を目的としているため、定量的な成果目標及び成果実績を示すことは困難である			活動実績 (当初見込み)					—
						()	()	()	
単位当たりコスト	(円 /)			算出根拠					
平成25・26年度予算内訳	費 目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	工事費		100						
計		100							

事業所管部局による点検						
	項 目		評 価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	国公費等の接遇で使用する施設であるため、国で維持管理を行う必要がある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		—			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	支出先等については、支出委任をしている国土交通省で一般競争入札を行っており競争性の確保、コスト削減に努めている。また、専門的な知識及び技術を要するため、一般競争入札に適さず随意契約(企画競争)となってしまうものについては、作業内容の精査等を行うことで適正化を図っている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—	国公費等の接遇を適切に行うために必要な改修工事等を実施している。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	支出先の選定は、支出委任先の国土交通省において一般競争入札を行っており競争性の確保をし、一般競争を行うことによりコストの削減にも努めている。また、専門的な知識及び技術を要するため、一般競争入札に適さず随意契約(企画競争)となってしまうものについては、作業内容の精査等を行うことで適正化を図っている。改修工事は工事の範囲を必要最小限にとどめつつも、接遇の際に支障がないよう改修を行う必要がある。					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	3	平成23年	155	平成24年	149

平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
('資金の流れ'に
おいてブロックご
とに最大の金額が
支出されている者
について記載す
る。費目と使途の
双方で実情が分
かるように記載)

A.(株)竹中工務店東京本店			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
工事費	「朝日の間」裂地更新工事等	38			
	特殊建具更新工事等	72			
計		110	計		0
B.(有)修復研究所二十一			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
工事費	天井絵画修復工事	32			
計		32	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)竹中工務店東京本店	「朝日の間」裂地更新工事等	38	1	88%
2		特殊建具等更新工事等	72	1	90%
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(有)修復研究所二十一	天井絵画修復工事	32	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					